

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リハビリ発達支援ルームUTキッズ香芝		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 5日		2026年 1月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46人	(回答者数) 28人
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日		2026年 1月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育を通して、お子様一人ひとりに合わせた活動内容を考えて提供している。	お子様の成長等、スタッフみんなで共有しながら、療育の活動内容や支援内容に繋がっています。 前回の療育内容を確認し、継続した支援が届けられるように意識しています。	スタッフ間で療育を振り返る会議を設け、お子様の発達段階や支援内容の共有を行いやすくなるよう努めます。
2	保護者様と一緒にお子様の様子について共有しながら、日常生活に繋がる支援を話し合える。	定期的なモニタリングやフィードバック時等に、保護者様と共にお子様の様子について話し合っています。 必要に応じて、ゆっくりと時間を取ってお話できる体制を整えています。 掲示場でもお知らせしています。	保護者様が話したい時に声を掛けて頂きやすくなるように、体制を整えています。 モニタリングやフィードバック時等で、悩みを聞き取りながら、保護者様にお声がけさせていただきます。
3	1人のお子様、それぞれのスタッフからの多面的な視点で関わる事ができている。	療育目標を基に、スタッフの個性や他職種の視点の中で、遊びを工夫して提供しています。	持ち寄った遊びをスタッフ間で体験する場を設け、遊び方の案をそれぞれ出し合いながら、スタッフのスキルを高めていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	出入口が取付階段になっている。	構造上バリアフリー化が難しく、出入口に取付階段を使用しています。	お子様、保護者様の出入りがある際は、取付階段の傍で見守り安全面に配慮していきます。
2	施設が道路に面している為飛び出すリスクがある。	退所時、お子様が靴を履いた後に、道路方面に走り出す場面が見られる事があります。	道路前にストップ表示を掲示し、飛び出すリスクの軽減に繋がります。
3	保護者様同士の交流の機会が少ない。	同時間の利用以外、保護者様同士で交流する機会が少ない状況です。	親子イベントの開催を定着していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 リハビリ発達支援ルームUTキッズ香芝

公表日 2026年 3月 2日

利用児童数 2026年 1月6日

回収数 28名/46名中

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	2	0	1	限りあるスペースですが、工夫を凝らした多様な場を設定されています。 いつものびのび動けるように工夫されています	のびのびと体を動かせるスペースを確保できるように、環境や遊具配置の工夫に努めています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	28	0	0	0	マンツーマンで安全性も配慮された環境です。 個別で丁寧な対応してもらっています	引き続き安心してご利用して頂けるよう心掛けていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24	2	0	2	判断できませんでした。 ここでは何をするのか、誰が使うのかを明確にされていると思います	今後も安心安全にお子様がお過ごせるような環境設定を行っていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	28	0	0	0	良好な環境と思います。 療育毎に掃除、消毒も徹底されていると思います。	引き続き、掃除・感染症対策等の環境設備を行っていきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28	0	0	0	課題へのアプローチ等、子供も楽しく通っているため、子どもを否定せず、前向きな声かけや考え方を柔軟に対応してくれています。こちらもなるほどと思えるヒントをもらえています。	お子さんのよりよい支援を届ける事ができるよう、保護者様と共有伝達しながら取り組んでいきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26	0	0	2	体をよく使い、元気に活動しています。	引き続き、一人ひとりのお子様に合わせて活動内容を考え、療育に取り組んでいきます。また、楽しんで取り組める活動内容を工夫していきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	27	1	0	0	ヒアリングをもとに実践に活かされています。 子どもの好きなことに少し苦手なことをプラスして丁寧に対応してもらっています。体の使い方も随分上手になってきて成長を喜び合えることが楽しいです。	児童発達支援管理責任者を中心に、ニーズや課題を感覚統合理論を中心に分析し、個別支援計画を作成しています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28	0	0	0	ヒアリングで伸ばしたいところなど、細かく擦り合わせていただいています。 毎回モニタリングで丁寧な聞き取りがあり、項目ごとに確認できています。	個別支援計画は「本人支援」「家族支援」「移行支援」の項目を含め作成しています。また、具体的かつわかりやすいよう、表現の向上に努めています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	27	0	0	1	内容が時々変わっているため、課題と克服度に合わせて変化していただいています。 子どもの成長を感じます。楽しんで取り組んでいることが伝わってきます。	引き続き放課後等デイサービス計画と照らし合わせながら療育に取り組んでいきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	1	0	1	定期的に活動が変化しています。 前回やったことをおさらい？応用？みたいなことになっているといわれますが、だからといって子どもが飽きた様子やつまらなさそうな様子はなく、毎回めいっぱい頭や体を使って楽しんで療育を受けています。	一人ひとりのお子様に合わせて活動内容を考え療育に取り組んでいきます。また楽しんで取り組める活動内容を工夫していきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	2	13	6	イベントの紹介などあり。	所属する園・学校との交流の機会は行っていませんが、会社全体での地域交流の行事を開催しています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28	0	0	0	毎回丁寧に説明を受けています。	ご利用前に、契約に関する説明とお子様のご様子について聞き取りをさせていただきます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28	0	0	0		放課後等デイサービス計画書の作成後保護者様に説明し、承認をいただいています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	3	1	6	なかなか参加できないこともあるのですが、毎回大人も子どもも充実する内容を考えておられることが、わかります。	親子イベントの中に、保護者様だけで過ごして頂く活動を取り入れています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	27	1	0	0		お子様の状況を保護者様に伝え、健康や発達の状況について共通理解できるように努めています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	28	0	0	0	モニタリング以外でも、少し疑問になったことや支援に使う道具のことなどにも毎回機身になって相談を受けてもらえ、明確なアドバイスもいただけるので安心しています。	定期的にお話して頂ける機会を設けていけるように心がけています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27	1	0	0		来所時やモニタリング時に、日常場面、療育場面でお子様の成長を保護者様と伝え合う事ができるように心掛けています。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	5	3	9		親子イベントを開催しています。ごきょうだいも参加して頂けるイベントも今後検討していきたいと思っています。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	0	0	4		保護者様が話したい時に声掛けをして頂きやすくなるように、体制を整えています。今後、掲示場でもお知らせしていきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27	1	0	0	専門用語をあまり使わず、わかりやすいように伝えてくれています。	お子様、保護者様の思いに寄り添う気持ちを常に心がけていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20	2	1	5		インスタグラムを通じて活動内容を共有しています。また今後通知アプリを使用し、必要な情報を適時発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	0	0	1		個人情報が入ったファイルは、使用毎に棚に戻す・個人情報を持ち出さない・書類はシュレッダーにかけて破棄する等しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26	0	0	2		各マニュアルは策定済みです。また研修、訓練、訓練報告を行なっています。待合室に掲示していますのでご覧ください。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23	1	0	4		避難訓練、防犯訓練を定期的に行っています。実施した際は、待合室に掲示させて頂いていますのでご覧ください。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	27	0	0	1		避難経路を把握しながら支援を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24	1	0	3	小さな怪我でも必ず報告があり、その後	打ち身や擦過傷があった場合、保護者様に該当箇所の確認をしてもらっています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	28	0	0	0		お子様に安心して通って頂けるような関わりや環境作りを心掛けていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	28	0	0	0		お子様の興味・関心を取り入れながら活動内容を考え、療育グッズの作成を行っています。楽しい療育が届けられるように努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	27	0	0	1		各指導員が多角的視点を持って、お子様に関わり、気付きを共有しながら療育に取り組んでいます。支援目標に加え、お子様に、「やりたい」「楽しい」「できた」と感じてもらえる療育を、今後も届けられるよう心掛けていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
リハビリ発達支援ルームUTキッズ舎芝		2026年3月2日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	その時の療育に必要な療育用品、遊具を選択し療育室に置くようにし、安全に身体が動かせるスペースが広がるような環境作りを心掛けています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	3	規定通りの人数を配置しています。	急な欠勤者が出た時の補助が、常にできるよう連携を行ってまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	手洗い場に、手洗いうがいの手順表を貼ったり、待合室と療育室の壁紙を変えたり、活動場所のわかりやすさに配慮するように配慮しています。バリアフリーではないため、入り口の段差に階段を設けています。	バリアフリーができていない場所に対して職員間で把握し安全面に配慮できるよう周知して行きます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	毎日、掃除、消毒を行い、清潔に保つよう努力しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	遊具・玩具整理室の1スペースを必要に応じて使用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	事業所目標で前期、中期、後期で振り返りを行っています。業務の改善が必要な時は、職員で話し合いをしています。	定期的に現状について振り返り、改善策を提案できる環境を整えていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	アンケートなどを通して把握しています。	今後も改善点について話し合いをおこなってまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	共有会議等で、職員全体で意見を出し合う機会を設けています。	意見を言いやすい環境づくりを心掛け、職員全体で話し合いを進めてまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0	第三者の評価は行われていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	外部研修の共有、法人・事業所内研修を行っています。	スタッフが参加しやすい体制を整えていきたいです。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	5領域の支援プログラム作成、ホームページにて公表しています。	全スタッフが把握し支援に取り入れていきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	計画書更新時に、お子様の状態を保護者様と話し合いながらモニタリングを行い、お子様と保護者様のニーズに沿った計画書に繋がるよう努めています。	計画書見直し会議の日程調整を行い計画書作成ができるよう取り組んでいきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	計画書を作成する中で、今の現状や目標になる課題の共有を行っています。	モニタリングの内容や日頃の療育の内容、保護者様からの聞き取り等を基に、計画書作成会議を行っています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	パソコンやファイルからいつでも確認できるようになっています。計画書を確認し、計画に沿った支援を行っています。	ねらいに基づいた支援が出来よう職員間での共有を密に行ってまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	保護者様への聞き取りや観察から行っています。	検査等ができるスタッフを育成し、評価材料を増やしていきたいです。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	法人内では、新人研修、フォローアップ研修、専門研修、管理者研修、その他学習、保育所等訪問会議内において各課題となる内容に対し研修を実施しています。	計画書の見直し時、支援内容に対して振りかえり必要に応じて支援内容を変更し、個々にあった支援計画書を作成してまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	お子様のニーズに合わせた活動内容を、会議等で話し合っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	一人ひとりのお子様に合わせて活動内容を考え、療育に取り組みしています。職員間で活動の共有を行い、活動の提供の幅を広げられるよう努めています。	お子様が楽しんで取り組める活動内容を工夫してまいります。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	集団活動は実施していない為、必要に応じて同時間の児童とのやり取り等を通して支援しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	支援開始前、職員間で活動内容の確認や打ち合わせを行っています。前回の活動内容を、聞き取りや記録で確認し、職員で連携して支援が行えるよう心掛けています。	チームでの連携ができる体制を整えていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	気づいた点を、共有しています。	共有時間の確保に努めています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	日々記録を入力し支援に活かせるように心掛けています。	記録から見える子どもの様子については把握できるような記入の仕方を見直して行きます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	定期的にモニタリングを実施し、見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	必要に応じて連携を行っています。	保育・教育機関とは保育所等訪問支援を通して連携は取れていますが医療機関等との連携は取れていないので今後連携が取れるよう取り組ん
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	2	保護者様を通して支援内容を伝えたり、実際に見てもらったりして共有できるようにしています。	相談支援員、園、学校等に事業所の見学、情報共有ができることを、周知できるよう取り組んでいきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	必要な児童に関しては書面等で情報を提供しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2	3	保護者様送迎のため、学校との情報共有は行っていません。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	3	保護者様からの情報共有を基に行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	3	現在対象のお子様がおられない状況です。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2	外部の助言を受ける機会はないです。助言を受ける段階ではないが、連携を図れる準備は進めています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	1	現在交流の機会は行っていませんが、会社全体での地域交流の行事を開催しています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2	協議会の研修に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	1	来所された時や、フィードバック時、モニタリング時などに保護者様と話をしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	SNSやチラシ等で情報提供を行っています。	保護者が求めている内容をわかりやすく伝達できるよう心掛けていきます。
関	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に説明するようにしています。	伝達アプリを導入して情報提供していきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	計画書更新時にモニタリングを行い、お子様やご家族の意向を確認しています。	分からんことがある際にはいつでも伝達できるようスタッフ間で共有できるようにしていきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	モニタリング時や計画書作成時に説明を行い、内容を確認して同意して頂いています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	必要に応じて実施しています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	2	保護者様同士の交流が持てるイベントを開催しています。	子育てサポートの在り方を周知し気軽に相談できるような環境を整えています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	その時々に応じて話を聞き、相談後に職員間で共有するようにしています。	保護者様が興味のあるイベント等を立案し参加率が上がるよう工夫していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	Instagramで定期的に発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報が入ったファイルは、使用毎に棚に戻す・個人情報を持ち出さない・書類はシュレッダーにかけて破棄する等しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	視覚支援グッズやジェスチャー、触れ合い等で、お子様の特性や状況に合わせた方法で、意思伝達が回りやすくなるよう心掛けています。保護者様への情報伝達については、お声がけや、お知らせの貼り出し、手紙配布、電話連絡等を行い、漏れがないように心掛けています。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	会社全体での地域交流の行事を開催しています。	個々に合わせてその都度対応できるよう臨機応変に取り組んでいます。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	計画を立てて訓練を行っています。訓練実施内容等を掲示場でお知らせしています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	計画を立てて訓練を実施しています。	職員間で周知できるよう教員研修を行っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	把握できるよう発症記録や利用登録書に記入して頂いています。発作が起こりやすいお子様は、療育開始前に1週間の様子を保護者様から聞き取り記録に残し、状態の共有と把握を行っています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	食べ物を使う時は、事前に保護者に確認を行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	計画を立てて訓練しており、実施した内容を掲示しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	契約時に説明するようにしています。	年間計画を立て研修、訓練を行っていき、療育に繋がれるようにしていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハットが起こった時に協議をし、再発防止できるようにしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	研修を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1	契約時に説明するようにしています。		